



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



記事を読んで、問いに答えましょう。

2021年7月28日朝刊



男子81kg級で優勝し、感極まる永瀬貴規 | 日本武道館

柔道永瀬 金メダル

前回リオデジャネイロ五輪で銅メダルだった悔しさを胸に、5年間を過ごしてきた。「つらい時間の方が多かった。柔道男子81kg級の永瀬貴規(27)が悲願の金メダル。粘り強さが一番の武器と自負し、大切に「日々精進」の言葉通り厳しい練習を積み重ねた。試合後は「これ切れず涙。自分一人では絶対取れなかった」と周囲への感謝を口にした。

柔道を始めた小学校低学年から素質は光っていた。「ひよっししたらひよっとする。五輪に出るかも」。1969年の世界選手権中量級で準優勝した永瀬の大叔父、平尾勝司

母や恩師夫妻 素質信じ

小由利さんにとつて、2男1女のかわいい末っ子。食後、毛布に母子2人でくるまりながらカーペットに寝転び、テレビを楽しむのが日課だった。試合だけではなく、全国各地の合宿も全部見に行き、練習を近くで見守った。

さん(故人)が周囲に話していた。のみ込みが早く、覚えたことをすぐに練習で出せた。柔道部のない中学に進学後、伸び悩んでいると感じた母小由利さんは、車で片道40分ほどの長崎市内の高校で稽古するため送り迎えをした。「素質があると言われ、本人もやる気があるのだからサポートしたかった」

長崎日大高(長崎県諫早市)の恩師松本太一さん(41)や妻 亜田美さん(40)の支えも大きかった。練習後すぐ部員に栄養補給させた松本さんの意向をくみ、亜田美さんが週に2回、中華丼などを作って道場に。試合前は肉巻きおにぎりが定番だった。リオ五輪から約1年後には大きな試練が待っていた。2017年の世界選手権の試合中に前十字靭帯(じんたい)を断裂し、手術。若手の台頭もあり、焦りを禁じ得なかった。小由利さんは「あの頃は回復を信じるしかなかった。」「どん底を味わって、はい上がってきた経験がある」と自信を見せていた永瀬。優勝後は「僕の長所は気持ちで折れず最後まで攻め抜く姿勢。それが生かされて良かった」と語った。

①記事の永瀬選手はリオデジャネイロ五輪では、どんな結果でしたか。

()

②リオデジャネイロ五輪後の永瀬選手の試練にはどんなものがありましたか。

[]

③永瀬選手が大切にしている言葉を記事から抜き出して書きましょう。

()

④永瀬選手は自分の長所をどのようにとらえていますか。

()

⑤見出しの口には、永瀬選手の思いが入ります。12字以内で書きましょう(句読点はつけません)。

| | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|

年 組 名前

作問者: 静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(小学校高学年~中学校/道徳、総合)

記事を読んで、問いに答えましょう。

解答例

2021年7月28日朝刊



男子81kg級で優勝し、感極まる永瀬貴規（日本武道館）

柔道永瀬 金メダル

前回リオデジャネイロ五輪で銅メダルだった悔しさを胸に、5年間を過ごしてきた。「つらい時間の方が多かった。柔道男子81kg級の永瀬貴規(27)が悲願の金メダル。粘り強さが一番の武器と自負し、大切に「日々精進」の言葉通り厳しい練習を積み重ねた。試合後は「これ切れず涙。一人では絶対取れなかった」と周囲への感謝を口にした。

柔道を始めた小学校低学年から素質は光っていた。「ひよつとしたらひよつとする。五輪に出るかも」。1969年の世界選手権中量級で準優勝した永瀬の大叔父、平尾勝司

母や恩師夫妻 素質信じ

さん(故人)が周囲に話していた。のみ込みが早く、覚えたことをすぐに練習で出せた。

柔道部のない中学に進学後、伸び悩んでいると感じた母小由利さんは、車で片道40分ほどの長崎市内の高校で稽古するため送り迎えをした。

「素質があると言われ、本人もやる気があるのだからサポートしたかった」

小由利さんにとつて、2男1女のかわいい末っ子。食後、毛布に母子2人でくるまりながらカーペットに寝転び、テレビを楽しむのが日課だった。試合だけではなく、全国各地の合宿も全部見に行き、練習を近くで見守った。

長崎日大高(長崎県諫早市)の恩師松本太一さん(41)や妻 亜田美さん(40)の支えも大きかった。練習後すぐ部員に栄養補給させた松本さんの意向をくみ、亜田美さんが週に2回、中華丼などを作って道場に。試合前は肉巻きおにぎりが定番だった。

リオ五輪から約1年後には大きな試練が待っていた。2017年の世界選手権の試合中に前十字靭帯(じんたい)を断裂し、手術。若手の台頭もあり、焦りを禁じ得なかった。小由利さんは「あの頃は回復を信じるしかなかった。」「どん底を味わって、はい上がってきた経験がある」と自信を見せていた永瀬。優勝後は「僕の長所は気持ちで折れずに最後まで攻め抜く姿勢。それが生かされて良かった」と語った。

①記事の永瀬選手はリオデジャネイロ五輪では、どんな結果でしたか。

(**銅メダル(だった)**)

②リオデジャネイロ五輪後の永瀬選手の試練にはどんなものがありましたか。

(例)世界選手権の試合中に前十字靭帯を断裂し、手術したこと。
(例)若手の台頭もあり、焦りを禁じ得なかったこと。

③永瀬選手が大切にしている言葉を記事から抜き出して書きましょう。

(**「日々精進」**)

④永瀬選手は自分の長所をどのようにとらえていますか。

(**気持ちで折れずに最後まで攻め抜く姿勢**)

⑤見出しの口には、永瀬選手の思いが入ります。12字以内で書きましょう(句読点はつけません)。

(例)一人では取れなかった(10字)／どん底からはい上がる(10字)／最後まで攻め抜く(8字) など

年 組 名前